

乳房組織にみられるあらゆる病理学的变化の解釈を、豊富な画像とともに実践的に解説するリファレンス、改訂第4版。好評を得ているBiopsy Interpretationシリーズの一冊で、Stuart J. SchnittおよびLaura C. Collins両医師が執筆と編集を担当している。全編にわたりアップデートされた本改訂版は、日常診療で経験する一般的または稀な病態について、その診断に至るまでの過程に欠かせない情報を読みやすい優れた構成で提供する。外科病理医や研修医にとって最適なリファレンスである。

本書の特長

- 組織パターンにより病変を分類し、他の病変と見分けるための特徴に注目する構成
- コア針生検、分子病理学、および日常診療との関連性が高い遺伝学に関する最新の考察を提供
- 診断のカギとなる特色を明確に表す600点以上の画像に加え、オンラインでさらに多くの画像にアクセス可能
- 適所で診断上の問題解決におけるadjunctive study (補助試験) の役割に注目し、議論の対象や未解決の問題に焦点を当て、エビデンスに基づく診断基準が不足している分野での実際的な推奨案を提供
- 推奨されているWHOの用語や診断基準を反映

本書には、タブレットやスマートフォンにダウンロードして専用アプリからいつでもアクセスできるインタラクティブなeBook版がバンドルされている。

